

# 市 況 概 要

※月別（ ）内は前年同月比

- ( 1 月 ) 前年同月より県内産は9,000本の増量で県外産で56,000本の減少となった。  
12月の異常気象や燃油の高騰、人手不足による影響で作付け面積を縮小せざるを得ない状況になっている産地もみられた。
- |     |             |            |
|-----|-------------|------------|
| 数 量 | 76,873 本    | ( 17.4%)の減 |
| 金 額 | 7,840,153 円 | ( 20.7%)の増 |
- ( 2 月 ) 降雪が続き、また、積雪量が多かった為、切花及び鉢物の一般小売りが不振となった。  
業務需要では、祭壇用の白菊系の入荷量が不足し高単価で推移した。
- |     |             |            |
|-----|-------------|------------|
| 数 量 | 107,424 本   | ( 21.8%)の減 |
| 金 額 | 1,366,715 円 | ( 3.2%)の減  |
- ( 3 月 ) 鉢物は、胡蝶蘭の需要量が安定的にあり鉢物全体の平均単価を押し上げている状況となった。  
切り花は、彼岸需要期に全国的に寒の戻りがあり、値崩れの原因となった。
- |     |              |            |
|-----|--------------|------------|
| 数 量 | 65,867 本     | ( 8.7%)の減  |
| 金 額 | 16,743,821 円 | ( 22.0%)の減 |
- ( 4 月 ) 全国と比べると青森の気温は低めに推移し、中々春の風物詩である鉢物の動きが鈍いように思われた。  
トランプ関税や主食である米の高騰などの影響を受け嗜好品である花までは、余裕がないのか厳しい結果となった。
- |     |              |            |
|-----|--------------|------------|
| 数 量 | 143,850 本    | ( 22.3%)の減 |
| 金 額 | 17,250,396 円 | ( 30.8%)の減 |
- ( 5 月 ) 母の日需要も一般の消費者が花離れの為か引き合い弱く、暖地物から高冷地物への切り替わりで品薄感はあるものの、一般の小売需要も引き合い弱く、本月平均は66円となった。
- |     |              |            |
|-----|--------------|------------|
| 数 量 | 112,306 本    | ( 16.2%)の減 |
| 金 額 | 28,350,797 円 | ( 42.6%)の減 |
- ( 6 月 ) 暖地物から高冷地物に切り変わってきたが、出荷が遅れている産地もあり、品薄感がある。  
輸入品も依然円安続きで減少傾向となった。
- |     |             |           |
|-----|-------------|-----------|
| 数 量 | 9,987 本     | ( 1.9%)の増 |
| 金 額 | 3,606,818 円 | ( 9.7%)の増 |

# 市 況 概 要

※月別（ ）内は前年同月比

- ( 7 月 ) 例年になく猛暑続きで、鉢物も早めに出荷終了となり、前月比の入荷量は50%となった。  
切り花も日持ちしない品目は引き合い弱く、業務需要中心の動きとなった。

数 量	91,486	本 (	15.8%)	の減
金 額	7,314,866	円 (	15.8%)	の減

- ( 8 月 ) 高温続きで短丈の品目もあり、お盆の需要期以後は食品の値上がりもあり、後半には引き合いが弱くなった。

数 量	61,214	本 (	7.8%)	の増
金 額	9,223,098	円 (	11.7%)	の減

- ( 9 月 ) 9月に入り、高温続きで前進出荷もあり、後半になると日中の寒暖差もあり、秋彼岸の需要期以降、入荷量は減少となった。

数 量	49,388	本 (	8.0%)	の減
金 額	11,509,247	円 (	18.4%)	の減

- ( 1 0 月 ) 10月に入り、また食品等々など物価高の影響により小売りの引き合いが弱く、また冠婚葬祭の需要も減少している。

数 量	24,029	本 (	5.0%)	の減
金 額	7,049,818	円 (	14.9%)	の減

- ( 1 1 月 ) 11月に入り、さらに食品物等々の値上りもあり、連休での業務需要も例年より少なかったが、入荷が少ない品目は、高値販売となった。

数 量	49,379	本 (	11.1%)	の減
金 額	6,354,008	円 (	12.5%)	の減

- ( 1 2 月 ) 天候不順、燃料費の高騰もあり、暖地産からの入荷が減少した。  
また物日でも昨年の大雪の影響もあり、最低限の注文量での販売も見られた。

数 量	10,824	本 (	1.5%)	の増
金 額	8,034,404	円 (	9.4%)	の減